

JR川越線橋りょうの架換えについて

7月15日時点

令和12年度完成予定の荒川第二・第三調節池事業（グリーンズ川越85号参照）に伴い、荒川橋りょうの架換えが予定されていますが、これを機に、複線化の実現に向けた協議を行うため、埼玉県・さいたま市・川越市と国土交通省とオブザーバーとしてJR東日本が参加した協議会が設置され、さまざまな検討が行われています。

そして現在、橋りょう架け換えに関する諸課題の抽出と、それを踏まえた調査・検討を行う目的で、業務委託により、調査が行われており、令和3年12月28日に調査報告書が提出されることになっています。

調査内容

- ◎ JR川越線の輸送状況及び沿線地域の現状分析等
- ◎ 複線化の効果
- ◎ 先進事例の調査
- ◎ 荒川橋りょうにおける技術上・工程上の課題
- ◎ 橋りょうの複線化の方策の分析・検討
- ◎ 複線化仕様での橋りょうの形状等の分析・検討

今後のスケジュール

- ◎ 令和3年8月31日 調査の中間報告期限
- ◎ 令和3年12月28日 調査の最終報告期限

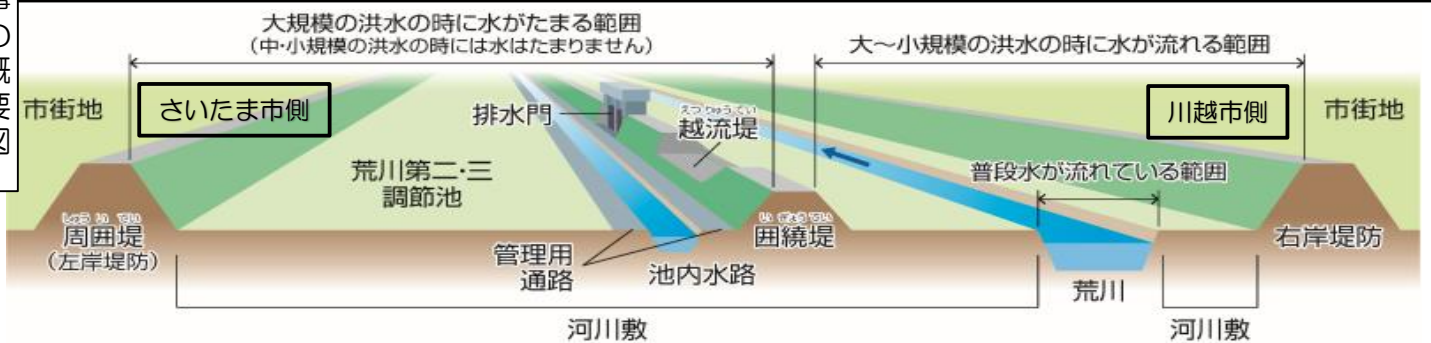
その他

- ◎ 調査業務委託金額(以下は内訳) 3,575,000円
(県が5割、さいたま市2.5割、本市2.5割を負担)
- ◎ 契約先 日本交通技術株式会社



出典：荒川調節池工事事務所HP

調節池工事の概要図



用語説明

- 囲繞堤 : 荒川左岸の広い河川敷を調節池にするために造る堤防です。
- 越流堤 : 川の水位がある高さ以上になった時に、洪水の一部を調節池へ流れ込ませるために、囲繞堤よりも低く設置する堤防です。
- 周囲堤 : 調節池区間にある荒川本来の堤防です。堤防が未完成である箇所には周囲堤を造ります。
- 仕切堤 : 広い河川敷に調節池を効率的に整備するため、調節池の間を仕切る堤防です。
- 排水門 : 荒川の水位が下がるのに合わせて、調節池にためた水を排水する水路です。
- 池内水路 : 平常時に調節池に降った雨の排水や、洪水時に調節池内にためた水を排水する水路です。

提案型地域情報誌グリーンズ川越は、2003年より政治を身近にしていくための活動の1つとして始め、2007年からは議員活動報告をプラスし、私の考え方と共に皆様にお届けしているニュースです。なお、手配りのためにタイムリーにお届けできない場合がありますがご了承下さい。バックナンバーをご希望の場合はお届けします。ホームページでも見ることができます。[川口けいすけ]で検索！



この紙面の配布にご協力いただける方は、下記までご連絡いただければ幸いです（範囲・枚数は出来る限りで結構です）。
TEL 080-3025-5776 E-mail kawaguchi-keisuke@outlook.com

